



桜台中通信 No.4

校訓「自主・敬愛・健康」



令和6年7月18日発行 校長 池内容子

※3年修学旅行・2年キャリア教育・1年宿泊学習の様子はPTA新聞でお知らせします。

◎6月11日(火) 制服着こなし教室

1・2年生の制服のメーカー、AKASHI.S.U.Cから3名の方に来ていただき、桜台中学校の制服に施されたさまざまな工夫や、人から見られた時の印象などを考慮してデザインされていることなどを教えていただきました。中学生らしく制服を着こなし、他校や高校を訪問するときなど自信を持って、立ち居振る舞いができるように学びました。



◎6月17日(月) 豆マツチ決勝



5月12～31日に1・2年生、5月30日～6月5日に3年生が予選を行い、17日にグラウンドで決勝戦を行いました。クラスでそれぞれ練習に取り組み、予選を勝ち抜いた10クラス。本番は緊張や焦りも伝わってきて、10番目の緑、20番目の黄色のゼッケンまではあまり差がつかせませんでした。最後まで争った3、4クラスの中、2年4組が優勝しました。単純な競技ですが、みんなで取り組むこ

とでクラスの絆を感じて競えたのではないのでしょうか。

◎6月19日・7月16日 SNSトラブル防止教室

6月は3年生、7月は1・2年生対象にサポートセンターからSNSのトラブル防止のために指導にきていただきます。スマホやインターネットは便利だけど、使い方を間違えればいろいろなトラブルに巻き込まれることを映像や法律を交えて教えていただきました。少年が被害に遭うトラブルとして「迷惑メール」「個人情報流出」「誹謗中傷の書き込み」「架空請求」「クリック詐欺」「ゲームでのトラブル」「著作権侵害」「ブログ等のトラブル」などで、写真や書き込みなどネットで安易に発信された情報は、冗談では済まされない深刻な被害を及ぼします。ネットではあっという間に拡散されて取り返しのつかないことになってしまいます。万が一、インターネットのトラブルに巻き込まれたら、すぐに保護者や先生など大人に相談しましょう。



◎7月8日(月) 薬物乱用防止教室

薬物乱用防止教室もサポートセンターの方に来ていただきました。青少年期に大麻が脳や体に与える様々な影響や「薬物の三大特性」について教えていただきました。

- ① 「依存」…薬物なしには生きていけない
- ② 「耐性」…使えば使うほど量も回数もどんどん増える
- ③ 「フラッシュバック」…幻覚や妄想に長い間苦しめられる

SNSやネットの都合の良い情報をうのみにせず、自分の身をしっかりと守ってください。

薬物から身を守る「3つの勇気」
近づかない勇気
断る勇気
相談する勇気

◎7月5日(金) 新聞の閲覧コーナーを設置しました



文科省の学校図書館整備計画により、新聞の複数紙配置の予算が今年度つきました。全国紙を2紙、中高生向け新聞を2紙、英字新聞を1紙7月より配備しています。

よりたくさんの生徒の目に触れるように、閲覧コーナーを設置しました。1日1回は新聞に目を通してほしいです。中高生新聞は週に1回ですが、時事問題などを中学生向きにわかりやすく解説してくれています。英字新聞も中学生に読めるように単語や日本語の解説がついています。

入試や学力にも絶対役に立ちます。1面を見比べてみるのも面白いです。

◎7月5日(金) 1年生 校歌コンクールを実施しました。

昭和55年(1980年)4月1日開校した桜台中学校。当初校歌がなかったので、9月に制定委員会が発足し、校区の全家庭に募集要項を配布して、下松町在住の内田鉄雄さんの作詞に決まりました。当時の音楽の佐藤智重先生が作曲されて、2月21日にお披露目されたそうです。今年入学した1年生も音楽の時間にたくさん練習して覚えてくれました。初めての合唱、緊張で声が出るように出せなかった人もいます。秋の本番の合唱コンクールに向けて、いい経験になったのではないのでしょうか。



◎裏面に通級担当の先生からの「一言コラム」を掲載しています。

モデリング

昔から“子は親の背中を見て育つ”と言われている。

果たして私は子にどんな背中を見せているのだろうか？

完璧な…非の打ち所がない…。もちろん No である。

なのに我が子に思うことと言えば、

「勉強してほしい。」「片づけてほしい。」「YouTube を見すぎじゃないか。」

「靴をそろえて。」「返事はすぐにはっきりと。」「言い訳せず、心から謝る。」等々。

その全てを本人に言わないにしてもなんと要求の多いことか…。

よし、この夏休みは何か一つ親の背中を見せてみようと思う。

「素直になってほしいなら、自分が素直に謝る。」

「片づけてほしいなら、自分が部屋の状態をキープする。」

「本好きになってほしいなら、自分が携帯を置いて本を読んでもみる。」

モデリング＝教師や親など子どもたちの周りにいる人がモデルとなる

時代は変わり、言葉は変わっても大切なことは同じなのかもしれない。